

01 / 現状を整理する

DPP 対応診断

1商品型 / 納品サンプル サンプル・ストレートデニム / SAMPLE-DNM-01

SAMPLE / 架空案件の見本

架空の商品・相談・資料で作成した見本です。実際の顧客案件や、DPP登録・適合確認の実績ではありません。

最初に整理するのは、EU側の担当者と商品情報の根拠です。

商品型と販売予定の概要は分かります。一方、EUへの輸入・販売を担う相手、素材や製造工程の根拠資料、情報を更新する担当者は未確定です。まず関係者と資料の所在をそろえ、制作・登録準備へ進むための条件を整理します。

今回の対象と、受け取った情報

相談の目的	EU向け販売を検討中。何から準備し、どの情報を集めればよいか知りたい。
商品型の範囲	成人用デニムパンツ1型・1色・サイズM。別色・別サイズ・別素材は今回の範囲外。
素材・生産の申告	表地は綿100%、日本で縫製との設定。裏地・副資材、原綿・織布・染色の根拠は未整理。
販売先・経路	フランス向けに販売を検討。自社ECまたは現地卸を想定し、輸入者・契約上の役割は未定。
保管・更新の状況	商品台帳はExcel。仕様情報は仕入先のメールにも分散。公開情報の更新担当は未定。

見本内の資料設定（すべて架空）

M1 / 架空の商品台帳：SAMPLE-DNM-01、成人用、1色、サイズM、表地は綿100%との記載。

M2 / 架空の相談メモ：フランス向け販売を検討、自社ECまたは現地卸、輸入者未定、Excelで管理。

M3 / 架空の仕入先回答：日本で縫製との回答。素材・工程の証憑、ケア情報の原本は未受領という設定。

対象予定について / 制度情報は2026-09-06時点

欧州委員会は繊維・衣料品の委任法令を2027年第4四半期に採択する予定と案内しています。これは義務開始日ではありません。具体的なDPP情報項目は今後の法令・技術仕様で定められます。[1]

この見本では、個別商品の適用可否・開始日・最終必須項目を確定せず、衣料品の準備対象候補として情報を整理します。

02 / 不足情報と確認先

何を、誰に確認するか

商品型：SAMPLE-DNM-01 / 優先して確認する3項目＋続けて整理する3項目

優先度は、この架空案件での作業順です。法令違反の判定や、確定済みのDPP必須項目一覧ではありません。

順番・項目	今ある情報	次に確認すること	確認先 / そろえるもの
01 / 先に確認 販売経路と担当者	販売国はフランス。経路・輸入者・役割は未定（M2）。	誰が輸入し、誰が販売・情報管理を担うか。契約・役割分担を確認する。	販売担当 / EU側の取引候補 販売経路図・役割分担メモ
02 / 先に確認 素材・工程の根拠	表地綿100%・日本で縫製という申告のみ（M1・M3）。	部位別の組成と仕様書の版、各製造工程の情報源を確認する。縫製地から原綿産地を推定しない。	仕入担当 / 仕入先 仕様書・回答記録・資料の所在
03 / 先に確認 商品型と識別の範囲	社内品番とサイズMは設定済み（M1）。ロットとの対応は未整理。	品番・色・サイズ・ロットをどう区別しているか確認する。DPPの識別単位は仕様確定後に照合する。	商品管理担当 品番・仕様・ロットの対応表
04 / 続けて整理 ケア・修理情報	取扱表示や修理案内の原本は未受領という設定（M3）。	洗濯・使用時の注意や修理窓口について、既に案内している内容と承認者を確認する。	商品担当 / 仕入先 取扱表示の原本・案内文
05 / 続けて整理 公開してよい情報	資料がExcelとメールに分散（M2）。公開可否は未整理。	一般公開できる商品情報と、取引先情報など公開範囲の確認が必要な情報を分ける。	事業者 / 取引先 情報項目・公開範囲・承認者の表
06 / 続けて整理 更新と保管の手順	更新担当が未定（M2）。版の管理方法も未整理。	誰が変更し、誰が承認し、どこに最新版と根拠を残すかを決める。	事業者 / 運用担当 更新担当・承認手順・保管先のメモ

次の打ち合わせまでにそろえたいこと

まず01～03について、担当者名と「資料がある／取り寄せる／まだ分からない」を記入できれば、次の作業範囲を決めやすくなります。未受領は、情報が存在しないことを意味しません。

M1～M3は1ページ目の架空資料です。表の確認事項・優先順位は、この見本用の整理案です。

03 / 次の作業を決める

整理した後は、必要な工程へ

何を依頼者が確認し、どこから追加の作業になるかを明確にします。

1 関係者と原資料を確認する

依頼者が表の01～03を担当者へ確認。現時点で分かる回答と、未回答の項目をそろえます。

2 準備・実装の範囲を決める

回答をもとに、準備パックで行うデータ整理・公開・更新の設計や、その後の実装について、範囲と見積りを相談します。

3 合意した工程を進める

Web・QR、登録準備などを必要に応じて実施。Registryの操作・検証は、利用条件・権限と対象仕様を確認して判断します。

料金と、今回お渡しする範囲

DPP対応診断 / 30,000円～

- ・対象予定と今回の確認範囲の整理
- ・既存の商品情報・根拠資料の棚卸し
- ・不足情報・確認先の一覧
- ・次の工程と見積りに必要な条件の整理

必要な場合に別途見積り

- ・商品データの整備・移行、Web・QR制作
- ・Registryでの操作・検証
- ・API連携、更新の自動化・運用支援
- ・追加商品型や、合意範囲外の調査

DPP簡易チェック 5,000円～：対象の可能性と次に確認する点を短く整理。本見本の詳細な棚卸し・不足情報一覧は含みません。
DPP準備パック 50,000円～：診断を踏まえた商品データ整理と、公開・更新方法の設計。対応診断とは別の工程です。

この3ページは、DPP対応診断の1商品型を想定した見本です。実際の確認対象・資料量・納品内容と見積りは着手前に合意します。
取引先への直接照会や、無制限の追加調査は含みません。

法的判断・認証・法令適合の保証は含みません。この見本では、試験・証憑の真偽確認・翻訳認証・Registry登録・API接続を行っていません。実際の適用判断が必要な場合は、EU側の関係者や専門家への確認事項を整理します。

Web・QRとRegistryの関係

Registryは識別子等の索引を担い、詳細な製品情報のすべてを一括保管する仕組みではありません。[2] 商品情報の保管・公開・更新方法もあわせて検討します。

確認した公式情報 / 2026-09-06時点

[1] [欧州委員会 / Textile apparel](#) 採択予定と、情報項目が今後定められること。

[2] [欧州委員会 / The DPP Registry](#) Registryと詳細な製品情報の役割の違い。

見本の情報項目は確定済みの法的要件一覧ではありません。資料の改定時には公式情報を再確認します。

商品URLや、EU向け販売の予定からご相談いただけます。

[初回相談は無料 / WebたすけのDPP対応支援](#)